

第1学年 体育科 学習構想案

日時 令和4年2月3日(木) 第2校時
場所 体育館 指導者 教諭 高岡 美香

1 単元構想

単元名	ヒーローになってとんでみよう		
単元の目標	(1) 跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、跳び乗りや跳び下りをしたり、手をついてのまたぎ乗り・またぎ下り、手をつないでの跳び乗り・跳び下りをしたりして楽しく遊ぶことができるようにする。 (2) 器械・器具を使った簡単な遊び方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (3) 器械・器具を使った簡単な遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 跳び箱を使った運動遊びの行い方について知ったり、実際に動いてみたりしている。 ② 片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ③ 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手をついてまたぎ乗ったりまたぎ下りたりすることができる。 ④ 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手をついて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。	① 走って跳び乗った後、手を叩いたり回ったりして着地するなど、いろいろな着地の仕方を選ぶことができる。 ② 友達のよい動きを見つけたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	① 器械・器具を使っでの運動遊びに進んで取り組んでいる。 ② 順番やきまりを守り、だれとでも仲良くすることができる。 ③ 器械・器具の片づけを友達と一緒にすることができる。 ④ 場の安全に気を付けている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
跳び箱を使ったいろいろな跳び方を知り、日常生活の遊びに生かしたり、進んで運動遊びに取り組んだりしている。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
ヒーローになっているいろいろな跳び方にチャレンジしよう。		跳び箱を使ったいろいろな跳び方を「する」、友達の動きを「見る」、友達と協力したりして「支える」、跳び方を「知る」といった運動遊びとの多様な関わり方で楽しむこと。	
指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時4/6）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認 ・補助運動を楽しみ、いろいろな跳び方を知る。	【知①】（観察・学習カード） 【態③④】（観察・学習カード）
二	2	○いろいろな動きに挑戦し跳び箱遊びを楽しむ。 ・準備運動 ・踏み越し跳び、またぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・コースを選び、グループで楽しむ。 ・友達のよい動きや考えたことを伝え合う。 ・自分が選んだ場で楽しむ。	★【知②③④】（観察・学習カード） ○踏み越し跳びやまたぎ乗り・またぎ下り、支持で飛び乗り・跳び下りなどができる。 ★【思②】（観察・発言・学習カード） ○友達のよい動きを見つけたり、考えたりしたことを伝えている。 【態①②】
三	2	○工夫した跳び方で跳び箱遊びを楽しむ。 ・準備運動 ・手を叩く、手を広げる、回って着地、足を広げるなどを工夫する。 ・コースを選び、グループで楽しむ。 ・友達のよい動きや考えたことを伝え合う。 ・自分が選んだ場で楽しむ。	★【知②③④】（観察・学習カード） ○いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりすることができる。 ★【思①②】（観察・発言・学習カード） ○走って跳び乗った後、手を叩いたり回ったりして着地するなど、いろいろな着地の仕方を選ぶことができる。 【態①②】

2 本時の学習

(1) 目標

跳び箱を使った運動遊びを通して、いろいろな動きに挑戦し、友達の良い動きを見つけたり考えたりしたことを伝えている。(思考、判断、表現力)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>① 準備運動をする。 ◇ みんなで声を出そう。</p> <p>② 感覚づくり運動をする。 かえるの足うち、くま歩き、うま歩き、あざらし、うさぎ跳び</p> <p>③ 場の準備をする。 ◇ 安全に気を付けて準備しよう。</p>	<p>○今日使う部分を考えさせながら準備運動を行う。</p> <p>○跳び箱を使った運動遊びにつながる運動を、遊びを通して楽しませる。</p> <p>○場の安全に気を付けて準備を行う。 ○前時で学習したことを振り返り、課題を確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【めあて】いろいろなとびかたにチャレンジしよう。</p> </div>			
展開	28分	<p>2 課題解決に向けて活動する。</p> <p>① わくわくタイム ・グループでいろいろなコースに挑戦する。 ◇ 高く跳んでみよう。 ◇ 手を遠くについて跳んでみよう。 ◇ ピタッと止まろう。</p> <p>② ほめほめタイム。 ・友達の良い動きや考えたことを発表しよう。 ◇ 膝をまげて、ピタッと止まることができた。 ◇ 手を前について2回で跳んでいた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 グループの友達とアドバイスをしたり話し合ったりして、跳び方を工夫している。</p> </div> <p>③ にこにこチャレンジタイム ・コースを選んでチャレンジする。 ◇ このコースにチャレンジしてみよう。</p>	<p>○活動中はBGMを流し、楽しい雰囲気を作る。</p> <p>○ドン(踏み切り)パン(着手)ピタッ(着地)の合言葉で、跳ぶ時のポイントを確かめる。 ○自分の目標をもって取り組めるようにする。 ○次の児童の動きを見て、よかったところやアドバイスを伝えられるようにする。</p> <p>○全体の共有の場では、友達を励ましたり、友達の良さを見つけたりしている児童を積極的に称賛する。 ○友達のよい動きを動作化し、次の活動に生かせるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【具体的評価規準】思考・判断・表現 ○アドバイスをしたり話し合ったりしたことを生かしてチャレンジしたいコースを選び、楽しんでいる。 (観察・発言・学習カード)</p> </div>			
終末	7分	<p>3 めあてに対する振り返りをする。</p> <p>① 今日の学習を振り返る。 ◇ 高く跳ぶことができた。 ◇ 前よりも少ない回数で跳べた。 ◇ 手と足を近くに着けた。</p> <p>② 場の片づけをする。 ◇ グループで協力して、片付けまで頑張ろう。</p>	<p>○学習カードをもとに振り返りを行う。</p> <p>○友達のよい動きやよい言動を認め合えるような言葉かけをする。</p> <p>○グループの友達と協力して、安全に気を付けて片付けるようにする。</p>